

スケジュール

開催日や講義内容は変更になる場合がございます。
最新情報はメールやHP等で周知いたします。



2025年度開講プログラム
最新情報／申込はこちら↑

科目	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
科目Ⅰ	各講義のシラバスを参照											基礎研究専門力
科目Ⅱ-① 【基礎】						トランスファブルスキル／企業研究開発の実際						
科目Ⅱ-② 【応用】								知的財産調査／ 企業研究開発の俯瞰				
科目Ⅱ-③ 【ロールプレイ】	通年のうち3日											トランスファブル スキル
科目Ⅲ									OneMedicine 研究理解力			
科目Ⅳ	TOKUPROの講義から選択											臨床研究理解力

【科目Ⅰ】創薬基礎研究実践学〔単位数：3〕

自然科学技術研究科の科目より3科目以上受講。各講義のシラバスを参照してください。

【科目Ⅱ】リサーチマネジメント実践学(基礎・応用・ロールプレイ)〔単位数：各2・1・1〕

このプログラムでは、コミュニケーション力や交渉力、リーダーシップなどのトランスファブルスキルを学びます。また、産業界のマネジメントを若手企業人（基礎編）と経営層（応用編）の視点から紹介し、知的財産の重要性も講義します。さらに、ロールプレイを通じて実践的にスキルを習得します。

日程(予定)：【基礎】4月15日～7月29日 毎週火4限 全15コマ 【応用】10月14日～12月2日 毎週火4限 全8コマ
【ロールプレイ】7月28日、8月1日、4日(予定)

【科目Ⅲ】創薬シーズ育成研究実践学〔単位数：1〕

ライフサイエンス系教員と製薬企業出身の実務家教員より、幅広い視点からの人獣共通医療の観点や新創薬テーマの探索等に関わる最新のトレンドを講義してもらいます。

日程(予定)：12月9日～2月3日 毎週火4限 全7コマ

【科目Ⅳ】臨床研究実践学〔単位数：1〕

「特徴あるプログラム TOKUPRO」から該当する授業を聴講します。
該当科目はHP等に掲載予定です。



科目II リサーチマネジメント実践学



開催日や講義内容は変更になる場合がございます。
最新情報はメールやHP等で周知いたします。

2025年度開講プログラム
最新情報／申込はこちら↑

【基礎】

受講方法

対面／オンライン開催

開催日時(予定)

2025年4～7月 火4限

コマ数・単位

全15コマ・2単位

概要

獲得した専門知識や研究スキルを
条件の異なる場面でも発揮できる
ような展開力を身につけるとともに、
企業の若手研究者に産業界の
研究開発の実際を学ぶ機会とする。

日程(火4限)	タイトル	講師
4月 15日	企業研究の手法／イントロ	樋口 直樹 (岐阜大学)
4月 22日	イノベーションを起こす	宗像 基浩 (メルクエレクトロニクス)
5月 2日	コミュニケーション	福所 しのぶ (ライフエスティーム研究所)
5月 13日	知的財産マネジメント(基礎)	齋藤 優希 (サントリーHD)
5月 20日	リーダーシップ	板倉 朋宏 (LabBase)
5月 27日	プレゼンテーションの技法	高橋 佑磨 (千葉大学)
6月 3日	アントレプレナーシップ(概論)	山下 良一 (シーズレイザー)
6月 10日	アントレプレナーシップ(事例)	岩田 君彦 (ヒューロビント)
6月 17日	ライフサイエンス事業の研究と事業開発 ～若手企業研究開発者①～	若尾 摂 (東レ)
6月 24日	ウェットからドライへ ～若手企業研究開発者②～	須田 夏野 (帝人ファーマ)
7月 1日	私の考えた「研究」と「就職」 ～若手企業研究開発者③～	長屋 優貴 (アピ・岐阜大学OB)
7月 8日	獣医師のなになぜ製薬企業に？海外駐在とキャリアについて ～若手企業研究開発者④～	齋藤 明日香 (アステラス製薬)
7月 15日	化粧品業界の研究開発について ～若手企業研究開発者⑤～	辻 飛雄馬 (資生堂)
7月 22日	大学生から会社員に。感じているギャップについて(個人見解) ～若手企業研究開発者⑥～	小倉 麻梨子 (ダイセル)
7月 29日	博士号取得後の研究以外のキャリア ～若手企業研究開発者⑦～	愉 彦樺 (第一三共)

【応用】

受講方法

対面／オンライン開催

開催日時(予定)

2025年10～12月 火4限

コマ数・単位

全8コマ・1単位

概要

産業界における知的財産権の重要性と実践的な調査方法を学ぶと共に、企業
の研究所長クラスを招いての戦略的、俯瞰的な企業活動を学ぶ機会とする。

日程(火4限)	タイトル	講師
10月 14日	知的財産調査 ～創業企業の知財調査からわかる企業戦略～	酒井 美里 (スマートワークス)
10月 21日	知財マネジメント(応用) ～製薬業界の環境変化と企業における知財の役割とは～	奥脇 智紀 (中外製薬)
10月 28日	日本の創業研究の現状と今後の展望・オープンイノベーションによる 日本初の新薬創出を目指して ～事業紹介①～	渡邊 修造 (あすか製薬)
11月 4日	電子材料から化粧品へ： シリカの可能性を広げる事業開発の軌跡 ～事業紹介②～	佐藤 美樹代 (トクヤマ)
11月 11日	老化防止サプリメントNMNの事業開発 ～事業紹介③～	山名 慶 (NOMON)
11月 18日	新薬創製の未来を拓くオープンイノベーションの取り組み ～事業紹介④～	小西 一誠 (旭化成ファーマ)
11月 25日	地球環境が激変する時代に、企業がなすべきことは ーサントリー天然水の森活動からのヒントー ～事業紹介⑤～	山田 健 (サントリーHD)
12月 2日	ハウス食品グループの中期計画と新価値創出 ～事業紹介⑥～	上野 正一 (ハウス食品グループ)

【ロールプレイ】

受講方法

対面のみ

概要

上記基礎編の展開力のうち、特に演習にてスキルをより
身につけることができるものを重点的に学ぶ機会とする。

開催日時(予定)

2025年7～8月 3～5限

コマ数・単位

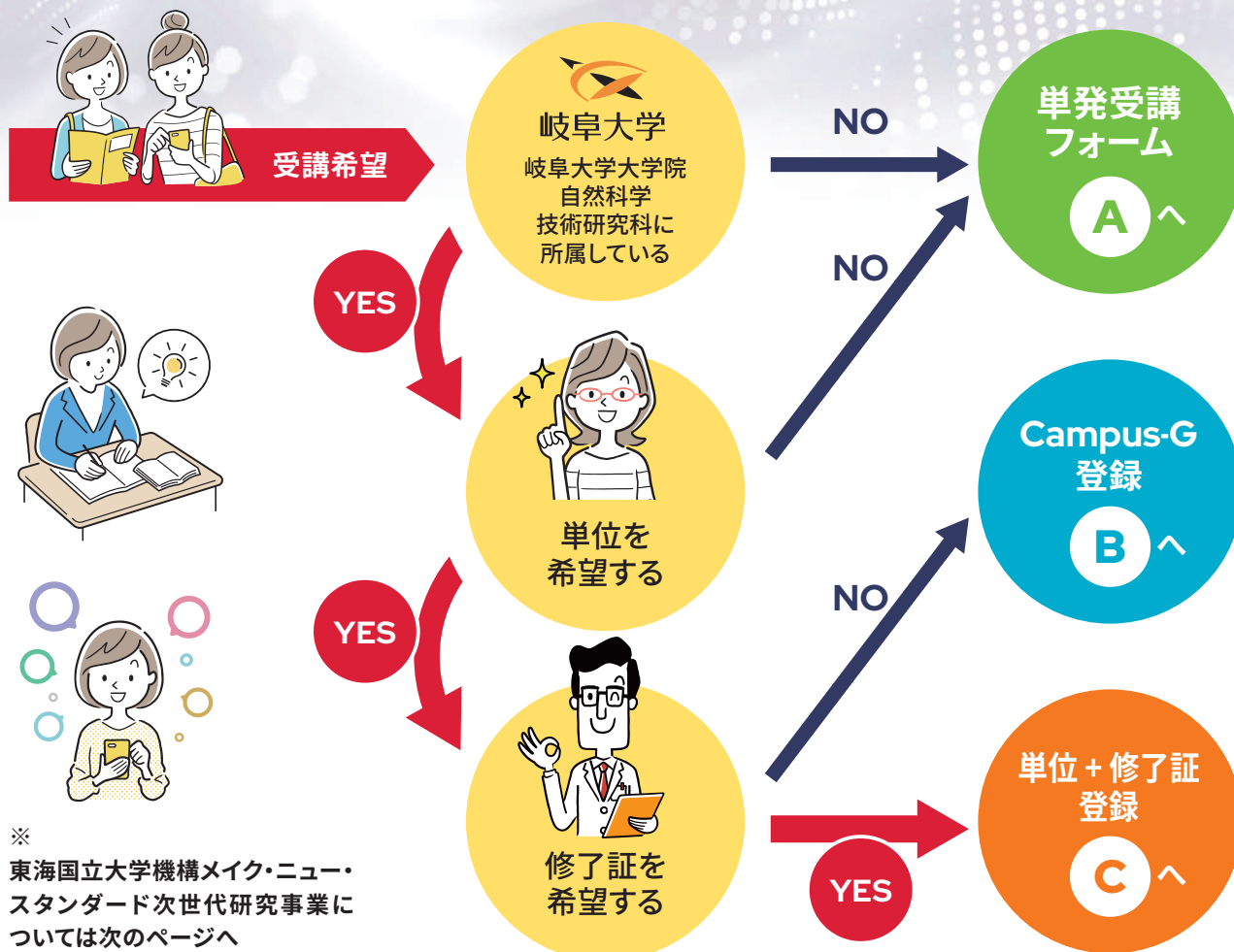
全3コマ・1単位
※1コマ4～5時間程度

日程(火4限)	タイトル	講師
7月 28日	ビジネスマナー	高原 温子 (マナーインストラクター)
8月 1日	ファシリテーション	関 尚弘 (古河電気工業)
8月 4日	ネゴシエーション(交渉学)	隅田 浩司 (東京富士大学)

履修方法

単発受講も可能です。

下のチャートに沿って、自分に合う受講方法を選んでみてください。



※
東海国立大学機構メイク・ニュー・
スタンダード次世代研究事業に
ついては次のページへ

A 単発受講を希望する場合はこちら

HPより単発申込の受講する講義を選択し、フォーム画面にて事前申込を
してください。

**B** 単位のみを希望する場合はこちら

シラバス確認の上、Campus-Gから登録してください。

**C** 単位 + 修了証を希望する場合はこちら

Campus-Gから単位登録をした上で、右記QRコードのフォームより
修了証希望の申込をしてください。



修了証・
大学間連携

修了証の発行

本プログラムでは、所属する専攻の修了要件を満たすとともに、該当する単位を8単位以上修得することで修了証を発行いたします。本プログラム修了証は、COMITセンター長名で授与されます。

なお、本修了証授与をご希望の方は、単位登録に加えformsでの登録が必要です。(6P下C参照)

東海国立大学機構 For RESEARCHENT

メイク・ニュー・スタンダード次世代研究事業



本プログラムのうち、科目Ⅱのみが岐阜大学、名古屋大学の、東海国立大学機構メイク・ニュー・スタンダード次世代研究事業に採択された博士課程学生(リサーチエント)に対するポイント科目として認定されます。基礎編、応用編の90分授業受講1回で0.5ポイント、ロールプレイ編は4時間1講義で1ポイントです。出席等の情報は各大学のメイク・ニュー・スタンダード事務局と共有します。

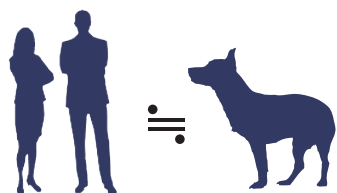
申請方法

リサーチエント用のTACTにて申請フォーム案内がありますので、そちらからお申込みください。
詳細は<https://www1.gifu-u.ac.jp/~gufellow/>を参照



One Medicine トランスレーショナルリサーチセンター

「岐阜大学 高等研究院 One Medicineトランスレーショナルリサーチセンター」は、「名古屋大学 One Medicine 生命・創薬 共創プラットフォーム」と連携し、「One Medicine創薬シーズ開発・育成 研究教育拠点」を設置しています。本拠点は東海国立大学機構が両大学の連携を強化する連携拠点支援事業における支援対象に認定されています。



比較医学によるヒトと動物の類似疾患の
共通点・相違点の地図化



オーダーメイド型疾患動物モデルで
シーズのスクリーニング・薬効評価
(先端医療機器等の活用)



自然発症動物モデルで
POC確認

研究から開発への障壁 創薬研究における“魔の川”を超える



ヒト医薬品として
治験・申請



動物医薬品として
治験・申請



創薬リサーチマネジメント 人材実践的教育プログラム スタッフ紹介



One Medicine創薬シーズ開発・育成研究教育拠点 (COMIT) 拠点長補佐 (教育担当)
名古屋大学大学院医学系研究科 附属神経疾患・腫瘍分子医学研究センター

教授 近藤 豊 Kondo Yutaka

本プログラムでは、「One Medicine」で画期的な創薬を目指すために役立つ、「実践的な」知識が習得できるように、選りすぐりの講師陣が揃っています。ぜひ積極的に学び楽しんでください。



One Medicine創薬シーズ開発・育成研究教育拠点 (COMIT) 拠点長補佐 (教育担当)
岐阜大学大学院自然科学技術研究科 生命科学・化学専攻

教授 上田 浩 Ueda Hiroshi

本プログラム全体を通じ、One medicineという考え方や、基礎研究から臨床研究までの創薬プロセス理解の一助になればと思います。また、学生の皆さんが、今後、社会に出られた時、本プログラムの内容が活かされることを願っています。

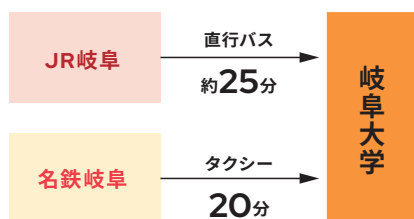


岐阜大学 高等研究院 One Medicineトランスレーショナルリサーチセンター リサーチマネジメント部門

特任教授 樋口 直樹 Higuchi Naoki

リサーチマネジメント実践学は自身の専門性や研究能力を、時期や場合にとらわれずに発揮するための、社会人としての基礎能力を獲得する講座です。また、企業研究者の実態やケースを学ぶことのできる絶好の機会ですので、お楽しみに！

岐阜大学キャンパスへのアクセス方法



交通アクセス

JR／名鉄岐阜駅から大学まで約7km。朝の通学は、岐阜駅からの直行バスが便利です。7:30～8:30までは、直行バスが5～7分間隔で運行。清流ライナーや普通を加えると3分間隔で運行しています。



岐阜大学高等研究院
One Medicine
トランスレーショナル
リサーチセンター
建物外観

岐阜大学高等研究院 One Medicineトランスレーショナルリサーチセンター



Address : 〒501-1193 岐阜県岐阜市柳戸1-1
U R L : <https://comit.gifu-u.ac.jp>
E - mail : comit-rm-program@t.gifu-u.ac.jp
(COMIT人材育成プログラム事務局)
T E L : 058-293-3162 (受付時間 平日9:00～17:00)

本プログラムは文部科学省「令和4年度国立大学改革研究・基盤強化推進補助金(国立大学経営改革促進事業)」の支援を受けています。

2025年3月発行